（2022/10/11）

２０２２年度　第１４回秋季ダブルス選手権大会開催要項

当日、大会運営役員は試合にも出ながら業務を行っていますので、
不手際等有るかと思いますが、ご理解のほど、宜しくお願いします
進行等の問題があった場合には優しくご指摘ください

大会責任者 宇田川 剛
大会レフェリー 藤波 由美子

≪日程、会場、役員及び当番≫

会場	そうか公園
予備日 10/16(日)	受付締切１２：４０ G1 男子複　１０１、１１２ 60 男子複　５０１、５０６
	○受付については従来のような集合はせず、受付締切の３０ 分前から順次行いますので**適宜、分散しての受付をお願いします。**
会場責任者	藤波 由美子
大会運営役員	―

本部ではドローのコピーを用意しませんので、参加者は必ずＨＰから印刷して来て下さい。

今回のドローは９月２２日に某市テニス協会のソフトにより酒井、藤波、吉原美にて作成しました。
シードについては第一順位２０２１ 年の同大会の実績（ベスト４まで）、第二順位２０２２ 年市民体育祭選手権大会の実績（ベスト４まで）で決定しております。

《セルフジャッジの原則》

2022 年度はスマートなジャッジで気持ち良くテニスをしましょう!!

・疑わしい場合はすべて相手の有利になるように判定をする「疑わしきはグッド！」

・ネットより自分側のコートについて判定とコールをする
・確実にアウトと言える（着地したボールとラインとの間にはっきりと空間が見えたとき）ボールだけを「アウト」又は「フォールト」とコールする
・判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。

代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」を示し、手のひらを地面に向けて「グッド」を示す。
・自分のサービスゲームの時はサービスを打つ前に必ずポイントのコールをする
（第１ポイントのサービスの前にはゲームスコアをコールする）
・自分の打ったボールに関する相手の判定に異義を唱えない
・少しでも疑問があるとき（良く見えなかった、わからなかった、ボールとラインの間に空間が見えなかった、など）はセーフとしてプレーを続ける
・よくわからなかったといって観客の意見を取り入れたりコーチの方を見たりしてはいけない
・試合の進行について相手と協力する

・規則解釈上の問題や試合進行について、相手と意見の食い違いがあったときは大会運営役員を呼んで下さい

≪COVID-19 感染防止にあたっての特別対応≫
１．受付は締切時間 30 分前より本部にて順次行い、集合はしません。尚、マスクの着用をされていない場合には入場をお断りします。
２．選手は、常にソーシャルディスタンスに配慮してください。待機中には必ず、マスクの着用をお願いします。
３．試合が終了した選手は速やかに会場からの退出をお願いします。

≪試合規則及び注意事項≫
1. ファーストサーブ、セカンドサーブともフットフォルトの場合には失点となりますので注意下さい。
2. 試合方法

本戦はセミアド・１セットマッチ、敗者戦はノーアド・６ゲーム先取とします。

※敗者戦を含めて、次の試合まで時間が空く場合も有りますし、連続して試合となる場合も有ります(その場合、インターバルは５分とします)のでご理解のほど、大会運営にご理解のほど、お願い申し上げます。
３．当大会は従来の通常の大会と同じく、本部にて大会運営役員が進行を行いますので本部にあるボードに試合が掲示されたら本部に申し出てください。
４．表彰対象

種目	表彰対象
G1 男子複	優勝、準優勝、第三位(決定戦あり)
G2 男子複 A、B	優勝、準優勝（各グループ毎）
４５男子複	優勝、準優勝、第三位(決定戦あり)
５５男子複	優勝・準優勝
６０男子複	優勝・準優勝
G1 女子複	優勝、準優勝
G2 女子複 A、B	優勝、準優勝（各グループ毎）
４５女子複	優勝、準優勝、第三位(決定戦あり)

５．セルフジャッジ。
６．試合前の練習は片側２本、計４本のサービスのみ。

７．試合終了後､勝者チームが①試合結果を記入した試合結果報告書､②ボールを本部に提出して､試合は成立したものとします。

８．開催日の定められた締切時間にエントリー受付をできなくても、天候等の理由で再集合、もしくは予備日に順延となった場合、改めて参加を可とします。(2022 年度より)。 但し、受付締切時間後、予定通りに開始された場合にはこれには当てはまりません。

９．申込者の変更はできません。変更して出場した場合、両者に罰則が課せられます。

１０．会場へはなるべく自転車、公共交通機関等で車の利用は避けて下さい。
駐車場が満車等利用できない場合がりますのでご注意下さい。

１１．ゴミは全て（空き缶、ペットボトルも）必ず、持ち帰ること。会場でのゴミ箱は使用不可。

≪セルフジャッジの試合における選手の主な注意点≫

１．対戦相手、試合方法（1 セット、タイブレ、ジュース有 or ノーアド等）互いに確認する。

２．サーバーはサーブを行う前に、相手に聞こえるようスコアをアナウンスする。
レシーバーは確認できない時は、アナウンスを要求する。

３．ネットより自分の側のコートについての判定とコールを速やかに行う。
確かな判定ができない場合は、ボールはグッドと見做さなければならない。

４．インプレー中に妨害が起こった場合は、「レット」とコールしプレーをやり直す。

５．次の場合は、協会役員に申し出ることができる。
①相手選手の言動、コール、フットフォールト等に疑問、不服があるとき。
②プレーヤー同士では解決できない問題が生じたとき。
③コーチング

６．試合終了後、勝者は速やかに本部に結果を報告、使用球を返却
る。